

歯の衛生週間によせて

歯科医からのメッセージ

— 1 —

今年も6月4日から

「歯の衛生週間」が始まりました。

歯科医師会が中心となり60年以上前から始まったこの行事は、む

し歯予防が主な活動でしたが、高度成長期を過ぎたところから歯周病も加わり、最近では歯並びや歯ぎしりや顎の関節の病気、さらには生活習慣病との関係など広い分野が対象と

なっています。

最終目標は、お口をきれいに一生自分の歯

歯科医師はあなたのパートナー



桐生市歯科医師会長
塩崎泰雄

先年、ニューヨークタ
イムズ紙に大きく取り

でおいしく食べることですが、歯周病と全身疾患との因果関係が解明され、糖尿病や心臓の病気の要因となり、さらには症状を悪化させ、寿命を縮めることがわかってきました。

上げられた「歯をなおしますか？ それとも死にますか？」の記事が大きな反響を呼びました。

規則正しい食生活を指しましょう。生活習慣病の大きな要因として食生活があります。これを支える歯や

口腔能改善プログラム「口から健康プログラム」を運用していただきます。まだ試験運用の段階ですが、受診者の評判も良く、高齢化社会には必須のプログラムになると自負しております。

す。高齢者にとっておいしい食事はなにより楽しい、生きる喜びです。歯科医師は皆さまのお口の管理を通して、すてきで楽しい生涯を送るパートナーとしてお手伝いいたします。お気軽に歯科医院を受診してください。

日本歯科医師会では80歳で20本の歯を残す8020運動を推進しています。この活動は、子どものころから歯を大切にして、いくつになっても自分の歯でおいしく食べ、すてきな笑顔で過ごしましょうという運動です。

例年春に実施している「歯の衛生週間事業」のイベントは、今年は11月4日の「秋の歯科イベント」として行います。